

2019 雪上技術研修会 第1回実地研修会 報告

(報告) Kinoshita

【日時】2019/2/2(土)～3(日)

【集合時刻・場所】2/2(土) 10:15、JR 土合駅・駅舎(土合駅前バス停下車)

【実地実習場所】土合橋「白毛門登山口」の無雪期駐車場付近(土合駅から歩7分)

【宿泊旅館】湯檜曾温泉「永楽荘」0278-72-3507 <http://www.eirakuso.com/>

【参加者】会員9名。

朝6時半に自宅をマイカーで出発。1時間余裕をもって9時半には宿泊先の「永楽荘」に到着するはずでしたが、高速で渋滞にはまってしまいタッチの差で旅館前から乗るはずだった土合駅に向かうバスに乗れませんでした。急遽旅館の方にタクシーを呼んでもらい15分ほど遅れて合流しました。申し訳ありません。冬の関越道はスキー客で混むのでマイカーの場合は1時間以上余裕を見ないとダメそうです。



さて訓練初日の午前中はノーアイゼン歩行(直登下降、トラバース)、アイゼン歩行(直登下降、トラバース)、ピッケルワーク、ワカン/スノーシュー歩行など基礎的な訓練を行いました。訓練場はふかふかな雪でしたのでどのようにステップを踏んでも比較的優しく歩けましたが、アイスバーン状態であったら難度はぐっと上がるだろうと感じました。軽めの昼食を摂り午後からは滑落停止訓練、雪上アンカー構築法、スタカット雪上確保法(スタンディングアックス・ビレー、腰絡み確保)を教えてくださいました。

もともとロープワークすらろくに覚えていない状態で訓練に臨んでしまった(猛省)ので、この時点ですでに頭の中は満杯です。スタンディングアックス・ビレーの有効さは翌日によりよく理解することができました。

この日は薄暗くなる前に訓練場を撤収し3台のマイカーに分乗して宿泊先へ戻りました。夕食前までの空いた時間を宿の別室をお借りしてコンテニューアス確保法(大阪コンテ、東京コンテ)のロープワークを教授して頂きました。

しかしこのあたりになると私はもう全く消化できず、頭の中はこんがらがったロープ状態となっており、せっかく教えて頂けるのにその土俵にすら上がれていない自分に少々幻滅気味。ロープワークをもっと勉強しようと心に誓った次第です。



(ロープを身体に束ね、掌にループを作るデモの風景)

翌日 2/2 午前は 9 時から同じ場所で訓練を開始しました。午前中は昨夜デモを見せて頂いたコンテニュアス確保法（大阪コンテ、東京コンテ）を 2 人ペアになって訓練しました。

東京コンテではピッケルが雪面に刺さらずに確保者である自分もろとも弾き飛ばされるアクシデントに見舞われてヒヤットしました。ピッケルを刺さずに済む大阪コンテの方が多少安全そうに感じました。

しかし訓練では滑落直前を想定していませんから身体も反応はできますが実際は対処できるようになるには相当習熟しないと危険でしょう。コンテニュアス確保とはどのような事かを学べただけでも収穫でした。

その後、スタンディングアックス・ビレーを使ってスタカットで確保する方法を訓練しました。こちらもちろん習熟は必要ですが比較的効果的な確保法だと感じました。

昼食後はスノーシェルター構築（緊急雪穴＋ツェルト）を学びました。雪穴を掘ったスペースにツェルトを張りましたがここで多くのノウハウを学ぶことができました。

次に積雪層観察（積雪断面切り出し）、弱層テスト（コンプレッションテスト）を行いました。私は雪を掘るのにすぐ息切れてしまっていたのですが皆さん軽快にスコップを使っている姿に感動しました。

最後に雪崩埋没者捜索法（ビーコン捜索、プローブ捜索）を行いました。ここではマムートの高価なビーコンが大活躍でした。すぐに訓練用に隠されたビーコンの位置を探し当ててくれます。問題は探し当てた後のプローブ捜索とスコップでの掘り出しでしょう。実際はデブリで非常に硬くなった雪を掘るのは大変そうです。ビーコン捜索から掘り出しまでを 15 分以内に行わなければならないので日々訓練が必要だと痛感しました。15 時半には現地解散してそれぞれ帰路につきました。

今回は非常に密度の濃い研修でした。私の反省点としてはロープワークは一人でも学べるのでそこはもっと完璧にしていかななくてはと思いました。

この研修会を企画して頂いた Oh さんはじめ講師を務めて頂いた皆様方に深く感謝申し上げます。



（緊急避難用雪穴を掘ってツェルトを張る）



（プローブ捜索の練習風景）